

琴欧14勝 名古屋で綱とり

前日に初優勝を決めた大関琴欧洲は大関千代大海を寄り切り、14勝1敗とした。来場所は初の綱とりに挑む。千代大海は5勝10敗。横綱対決は朝青龍が白鵬を引き落とし、ともに11勝4敗で終えた。

大関琴光喜は大関魁皇を送り倒して勝ち越した。魁皇も8勝7敗。関脇は琴奨菊が勝ち越しを決め、安馬は豊ノ島に敗れて9勝6敗。豊ノ島は11勝4

大相撲 夏場所

千秋楽

(25日・両国国技館)

敗と健闘した。小結稀勢の里は三役で初めての10勝をマークした。豊真将は豊響を引き落としとして9勝目。豊響は8勝7敗に終わった。

三賞は殊勲賞を安美錦、技能賞を安馬がそれぞれ3度目の受賞。稀勢の里と豊ノ島がそろって2度目の敢闘賞を獲得した。十両は千代白鵬が13勝2敗で初優勝した。名古屋場所は7月13日から愛知県体育館で行われる。

とりについて問われると「何も考えないです。今場所のように一日一日、自分の相撲を取るだけです」と答えた。

十両、幕内を通じて自身初の14勝。急成長の要因を「場所前のけいこが良かったし、(古傷の右)ひざもそんなに痛くなかった。(佐渡ヶ嶽)親方の教えが良かった」と話し、師匠に感謝していた。

連覇すれば望みも

横審委員長

大相撲夏場所初優勝した大関琴欧洲について、日本相撲協会の北の湖理事長(元横綱)は7月の名古屋場所が綱とりになることを認めた上で「全勝するくらいの気持ちでいかないといい」と述べ、連続優勝でもかなり高いレベルの成績が必要との考えを示した。

横綱審議委員会の海老沢勝二委員長も「(横審の内規を満たす)2場所連続優勝すれば、相撲ファンとしては3人の横綱で争ってもらいたいという気持ちになるのでは」と期待を込めた。

中入り後勝負

豊真将	ひきおとし	豊響
岩木山	おしだし	白露山
若の里	すくいなげ	琴春日
出島	おしだし	栃ノ心
豪風	おしだし	白馬
栃乃洋	はたきこみ	垣添
玉乃島	よりのたおし	豪栄道
高見盛	よりのきり	土佐海
栃煌山	よりのきり	嘉風
若ノ鵬	よりのきり	北勝力
玉春日	おしだし	旭天鵬
把瑠都	よりのきり	鶴竜
時天空	よりのきり	黒海
安美錦	よりのきり	朝赤龍
稀勢里	おしだし	雅山
琴奨菊	よりのきり	普天王
豊ノ島	おしだし	安馬

十両勝負

琴欧洲	よりのきり	千代大
琴光喜	おくりたおし	魁皇
朝青龍	ひきおとし	白鵬
武州山	おしだし	市原
千代白	はたきこみ	安壮富
霜鳳	よりのきり	北桜
光龍	はたきこみ	大勇武
霧の若	よりのきり	潮丸
白乃波	よりのきり	保志光
旭南海	おしだし	龍皇
皇司	うわてなげ	猛虎浪
海鵬	したてなげ	春日錦
豊桜	ひきおとし	礎牙司
木村山	はたきこみ	片山
将司	おしだし	玉鷲
北太樹	おしだし	境沢
若荒雄	よりのきり	若麒麟

「綱」考えず もっと努力

〇：前日に初優勝を決めた琴欧洲は、万全の相撲で千代大海を寄り切り「昨日、優勝が決まったので自分の相撲を取るだけだった」と満足げだった。

土俵下でのインタビューでは、満面の笑みでファンへの声援に応えた。ブルガリア語で「やっとなりてきました。これからもっともっと努力しま



大相撲夏場所初優勝し、賜杯を手笑顔の大関琴欧洲

【注】○は再。×は降下

＜名古屋場所予想番付＞

西	鶴喜海菊錦鵬王洋道山
東	光代奨美ノ天乃栄
朝	白琴千琴安若普柘豪雅
朝	琴奨魁安稀豊北朝若把
綱	関閔脇結12345
大	大関小前頭